

NEWS RELEASE

業界最多！18 種類の自動コースで中高年層の多様なニーズに対応
マッサージチェア 「サイバーリラックス AS-840/740」
3 月 1 日(月)より家電量販店で本格発売開始

マッサージチェア市場シェアNo.1(※1)の株式会社フジ医療器(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:町田一郎)は、ハイエンドモデル機種で 10 年以上のロングセラーを誇るトップブランド「サイバーリラックス」シリーズの最新モデル 2 機種を、3 月 1 日(月)に全国で本格発売(※2)いたします。

最新モデルは、最上位機種「AS-840」、および同機種の機能(肩ぐう、ソフトコース)を省機能化し価格を抑えた「AS-740」の 2 機種となります。

100 年に一度といわれる不況のなか、マッサージチェア市場は二極化が進んでいます。デザイン性を強調したローエンドモデル機種が伸びると共に、ハイエンドモデル機種も引き続き堅調な動きを示しております。ハイエンドモデルに関しては、肩こりや腰痛などの自覚症状が多い中・高年層の「自宅でリラックスしながら様々なマッサージで疲れやコリを取り除きたい」という不変のニーズに対し、更なるきめ細かいマッサージとシンプルな操作性が待ち望まれていました。

フジ医療器の「サイバーリラックス AS-840/740」は、マッサージチェアを構成する上で 1 番の主要部分である「もみ玉によるマッサージ」にこだわった「もみアート」(人間の手技により近い、感性に訴えるもみ技)を商品コンセプトとし、心臓部であるメカユニットを「極メカ 2.0」にバージョンアップしました。

これにより、今まで手動時に 7 段階だった強弱幅が 12 段階に広がり、よりきめ細かいマッサージを提供できるようになりました。また、より体のコリに合ったマッサージを行う事を目的に新開発した 5 つの新たなもみ技を駆使し、新たな施療方法を行っていくほか、普段ご使用いただける自動コース数を業界最多の 18 種類(AS-740 は 17 種類)ご用意しました。これらの自動コースから選択することにより、日々の体調の変化や、体型、年齢にあわせて様々なニーズに対応可能です。

さらに、主ターゲットである中・高年層がお手軽にお使いいただけるよう、ワンタッチで自動コースが始まる「ワンタッチ選択コース」を搭載しております。

2010 年は昨今以上に、自宅で過ごす時間をより楽しく、豪華にする「巣ごもりリッチ」の傾向が予測され、「団塊の世代」の退職も本格的に始まっています。フジ医療器の「サイバーリラックス AS-840/740」は自宅で過ごす時間に、上質の癒しと安らぎをご提供できる最適な製品です。

※1 全国の有力家電量販店販売実績を集計する GfKJapan のデータに基づいた、2009 年 1 月～2010 年 1 月「マッサージチェア」メーカー別 金額シェア

※2 「サイバーリラックス AS-840」は、2 月 1 日より全国家電量販店を中心に店頭配置を開始し、3 月 1 日(月)を持ちまして、全国店舗にて本格的に発売となっています



写真: サイバーリラックス AS-840



写真: サイバーリラックス AS-740

※本件は大阪商工記者会、大阪機械記者クラブ、関西レジャー記者クラブにて配布しております

＜本件に関するメディアからの問い合わせ先＞
株式会社フジ医療器 一井、水口 Tel: 06-4793-0780 Fax: 06-4793-0607

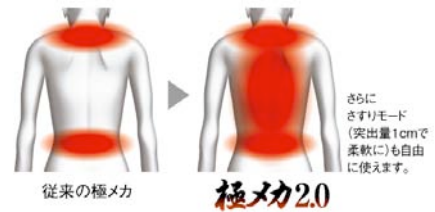
サイバーリラックス AS-840、740 の特徴

1. 筋肉を“さらに奥深く”+“さらに幅広く”もみほぐす、新メカ「極みメカ 2.0」を搭載

従来機種では「極メカマッサージ」によるもみ玉の優れた突出能力は、首・肩・腰におけるシンプルな動きでしか発揮できませんでした。

AS-840、740 においては、もみ玉をあらゆる部位（肩から腰まですべて）・複雑な動きにおいてフル稼動（最大突出量 10cm）できるように進化させたことで、さらに多彩に揉みほぐすことが可能になりました。また、手動操作時の強弱調整幅機能も、7 段階から 12 段階へとときめ細かな設定が可能になりました。

極メカモード(最大突出量10cm)使用時の施療範囲



2. 多彩な揉み技で、きめ細かなマッサージを実現

従来の 23 タイプの揉み技だけでなく、5 つのもみ技が新たに追加され、さらに決め細かなマッサージを実現しました。

もみ・たたき動作時に昇降動作をませ、広範囲のマッサージを可能にした「ループもみ上げ」・「ループもみ下げ」・「ループたたき」。

たたきの動作を肩筋に沿って平行移動しながら行う「肩たたき」。

そしてローリング動作時にもみ球の半回転動作を入れることによってソフトな感覚のローリングを実現する「波ローリング」が加わり、手の動きにまた一歩近づきました。



ループもみ上げ動作イメージ

3. 業界最多の 18 種類の自動コースでお好みのマッサージが思いのまま

従来 12 種類だった自動コースを 18 種類まで増やすことで、日々の体調の変化や年齢、性別にあわせて様々なマッサージニーズに幅広く対応しました。

特に、凝り固まった筋肉をほぐすために開発されたハードなマッサージコース「(全身/首・肩/腰)極メカ疲労回復コース」や、強いマッサージが不慣れな方への「ソフトコース(AS-840 のみ)」の追加により、自動コースを選択するだけでお好みのマッサージがお楽しみいただけます。

製品概要

サイバーリラックス AS-840

品名	: マッサージチェア AS-840
本体色	: BK(ブラック)、CS(ベージュ)
本体寸法(約)	:
リクライニングしていない時(脚部収納)	幅 75×奥行 124×高さ 123(cm)
リクライニングした時(脚部使用時)	幅 75×奥行 201×高さ 78(cm)
本体質量(約)	: 81kg
定格時間	: 30 分
電源	: AC100V(50/60Hz)
消費電力	: 110W
医療機器認証番号:	221AGBZX00313000(管理医療機器)

サイバーリラックス AS-740

品名	: マッサージチェア AS-740
本体色	: BK(ブラック)、CS(ベージュ)
本体寸法(約)	:
リクライニングしていない時(脚部収納)	幅 75×奥行 130×高さ 123(cm)
リクライニングした時(脚部使用時)	幅 75×奥行 204×高さ 78(cm)
本体質量(約)	: 76kg
定格時間	: 30 分
電源	: AC100V(50/60Hz)
消費電力	: 110W
医療機器認証番号:	221AGBZX00314000(管理医療機器)

フジ医療器 会社概要

社名	株式会社フジ医療器
設立	1965 年 4 月
代表取締役	会長 木原 定男 / 社長 町田 一郎 / 副社長 飯田 久利
本社所在地	〒540-0011 大阪市中央区農人橋 1 丁目 1 番 22 号 大江ビル 14 階
電話番号	(06)4793-0611(代)
事業内容	健康・美容機器の製造、販売、輸出入
資本金	15 億 6,000 万円
業績	売上高 190 億円(連結;09 年 8 月期)
従業員数	997 名

フジ医療器 マッサージチェアの歴史

— ゴミの山から完成させたマッサージチェア第一号機 —

第二次世界大戦後、復興とともに健康に関心が向き始めていた1954年頃、フジ医療器の創業者・故藤本信夫は、肩のコリに悩まされていた母親の疲れを解消したいと、マッサージチェアの開発を始めました。

藤本信夫は健康ブームを商機と捉え、「安くて機能的なマッサージチェアを作る」と意気込みました。ダンボールとはさみを使い設計を考え作り始めたものの、戦後の貧しい時代で材料の調達が難しかったため、ゴミ捨て場から部品を探しました。車のハンドルを座席の高さ調節用に、野球の軟式用のボールを揉み玉部分に、自転車のチェーンはアームの上下調節に活用しました。試行錯誤を繰り返し、1954(昭和29年)にフジ医療器の第一号機が完成しました。



木製のマッサージチェア

— 銭湯からマッサージチェアが一般化 —

当時の主力商品であるコイン式のマッサージチェアを銭湯に置いてもらうため、営業マンがリヤカーにマッサージチェアを積み込み、煙突を目印に街を歩き回りました。疲れたカラダをすっきり癒してくれる銭湯のマッサージチェアがお客さんの口コミで評判を呼び、一般化していきました。

— 21世紀型のマッサージチェアを開発 —

時代が20世紀から21世紀へと大きくうごめいていた頃、フジ医療器は、マッサージチェア業界の雄として大きな1歩を踏み出しました。

2000年に発売された「エアソリューション」は、それまでの肩・腰へのもみ・たたきが中心のマッサージチェアに、ふくらはぎへのもみほぐしが好評だったエアチェアのフット部分を融合。肩から足先までマッサージできる画期的なモデルが誕生しました。

2001年に発売された新機種には、業界初となる“3Dポイントナビシステム”を搭載。人工知能とセンサーで体形を感知し、タテ・ヨコ・前、3次元の動きを駆使してマッサージを行う機能により、今では700種類以上のマッサージが可能になっています。



3Dポイントナビシステム

— マッサージチェアのトップブランドへ —

2003年には、フジ医療器のマッサージチェアシリーズが2年連続でグッドデザイン賞を受賞、翌2004年には、フジ医療器初の肩ぐう(肩のよこ部分)や足裏マッサージ機能を搭載したフラッグシップモデル「サイバーリラックス」を発表しました。そして、2007年、ついに念願のマッサージチェア市場シェアNo.1(※3)を獲得するなど、フジ医療器は名実ともにマッサージチェア業界のトップブランドへと成長を遂げました。

— マッサージチェアの歴史・未来を切り拓くフジ医療器 —

2008年、フジ医療器は本社オフィスを大阪市中央区に移転、また翌2009年には大阪府堺市に あった工場を同太子町に新設・移転し、新たな一歩を踏みだしました。

フジ医療器は、長い歴史に培われた技術と信頼を誇りとして、これからもマッサージチェアの未来を切り拓き、マッサージチェアや健康器具を“贅沢品”から、毎日の暮らしに身近な“生活必需品”へと近づけたいと考えております。ひとりでも多くの人に健康と幸せな時間をお届けできるよう、社員一丸となって歩み続けます。

※3 全国の有力家電量販店販売実績を集計するGfKJapanのデータに基づいた、2007年2月「マッサージチェア」メーカー別 販売数量シェア

フジ医療器 マッサージチェアの変遷

フジ医療機の歴史はマッサージチェアから始まりました。1954年の創業から現在に至るまで、人々の疲れを癒すために数多くの商品を開発・販売してきました。私たちの歴史は、まさに美と健康を追い続けた歴史と言えます。



フジ医療器第1号機

1954年制作
創業者 藤本信夫が不用品や
廃品を集めて作った試作品を経て
製品化した木製マッサージ機。
電源を入れると、今でも動きます。



かあさん FB-302

1970年発売
“もみ”と“たたき”が一台でできる
「夢のマッサージ機」。スイッチひとつで速さ
(強弱)の切り替えが可能。アームを外して
応接椅子としても使うことができた。



Dr.ローラー FP-401

1979年発売
ローラーが背骨の両側をマッサージ。
“もみ”“たたき”式からローラー式へ
と主流が移行。もみ玉も内蔵され、リ
クライニングが可能になった。



CYBER-RELAX AS-830

2008年発売
フラッグシップモデル。
独自機能「極メカマッサージ」
「エアーマジック」など、メカ×エアーの
組み合わせで、734種類のマッサージ
を実現。



CYBER-Relax AS-001

2001年発売
体型を感知し、3次元の動きで最適な
マッサージプログラムを選ぶ
「3Dポイントナビセンサー」など、多くの
「業界初」の技術を搭載したモデル。



ロイヤルチェア MC-133

1995年発売
業界初のエアバッグのみをつかった
マッサージ機。ソフトな面刺激で、特に
従来品にはなかった下半身(もも・脚)
へのマッサージが画期的だった。